



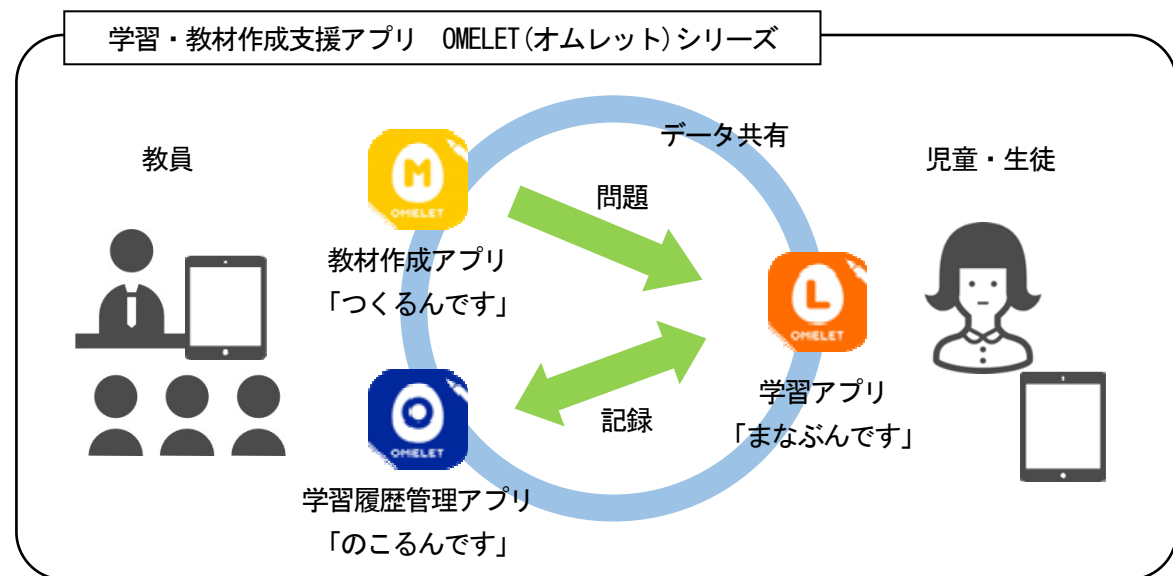
## 障がいのある児童生徒の学習支援アプリを配信 — 知的障がいや読み・書き困難等の児童生徒向け —

大阪教育大学は、知的障がいや学習障がい（読み困難・書き困難）などをもつ児童生徒向けのタブレット端末・学習支援アプリを開発し、App Storeで配信を開始しました。開発したのは、次の3アプリです。

- 教材作成アプリ「つくるんです OMELET」
- 学習アプリ「まなぶんです OMELET」
- 学習履歴管理アプリ「のこるんです OMELET」

これらは、文部科学省受託研究事業「障害のある児童生徒の学習上の支援機器等教材開発」(※1)として大阪府内の4特別支援学校(研究開発協力校)と共に「OMELET Project! (※2)」として開発を進めました。昨年8月に配信した読み上げ教材作成アプリ「よめるんです」に続くシリーズです。

今回リリースしたアプリは、特別支援教育の現場を意識した機能を搭載し、児童生徒が学習に取り組みやすく、またICT(※3)の活用にも慣れた教員でも比較的容易に教材が作成できるように設計しました。また、アプリは相互に連携し、同一タブレット端末内では自動的に教材ファイルが同期し、異なるタブレット端末同士(教員と生徒)は、AirDrop(※4)やサーバを介してデータ共有することができます。



### 【問合せ・取材申込先】

大阪教育大学科学教育センター 仲矢史雄（なかや ふみお）准教授

TEL & FAX: 06-6775-6693 メール: [nakaya@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:nakaya@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

OMELETプロジェクトページ: <https://apphouse.osaka-kyoiku.ac.jp/omelet/>

## 主な特徴

### 教員用教材作成アプリ「つくるんですOMELET」

読み書きの学習に困難を持つ児童生徒の学びを助ける先生の「教材作成」をサポートします。

- ・ 教材作成で使用頻度が高いもの（基本図形や選択回答欄など）が作成ツールとして用意されています。
- ・ カメラや写真アプリに連動させて教材が簡単に作成できます。
- ・ 特別支援教育で広く用いられているドロップスのシンボル（※5）が使用できます。
- ・ 読字に困難を持つ児童生徒のために設問を録音できます。
- ・ 画像（写真やイラスト）を選択問題に設定することができます（読字に困難を持つ児童生徒のために）。
- ・ Word, PowerPoint, PDFなどのファイルを読み込んで、過去に作成した教材も再利用できます。
- ・ 「つくるんです」で作成し終わった教材は、同一iPad内で「まなぶんです」で自動的に反映され、AirDropやサーバ同期（校内サーバ等を事前設定）によって、生徒のiPadの「まなぶんです」に反映できます。



### 児童生徒用学習アプリ「まなぶんです OMELET」

読み書きの学習に困難を持つ児童生徒の「まなび」をサポートします。

- ・ 回答には、次の4つの入力方法が利用できます：キーボード、フリーハンド（スタイラスペン）、写真撮影、録音（特に書字に困難を持つ児童生徒のために）。
- ・ 選択問題や数字回答問題では、即時正誤判定機能（表示、音による通知）によって、すぐに正解・不正解が確認できます。
- ・ 生徒の回答を、AirDropやサーバ同期により、教師用のiPadで共有できます。
- ・ 「のこるんです」で教師が添削でつけたコメントなどが確認できます。



## 教員用学習履歴管理アプリ「のこるんです OMELET」

読み書きの学習に困難を持つ児童生徒の学びを残す「学習履歴管理」をサポートします。

- ・ 「まなぶんです」で記録された学習プロセスを再生できるので、どのように児童生徒が回答したか確認できます。
- ・ 回答に対して、先生からのコメントやスタンプが残せます。
- ・ 回答に点数をつけることができ、合計点数も自動で計算できます。
- ・ 回答につけたコメントなどをAirDropやサーバ同期によって、生徒のiPadの「まなぶんです」に反映できます。



- 
- ※1 平成26年度に採択され、平成28年度末に終了。
  - ※2 OMELETは、Open Materials of Education for tableTの略語。OMELET Project!は、大阪教育大学と大阪府内の4つの特別支援学校（大阪府立大阪南視覚支援学校、大阪府立光陽支援学校、大阪府立和泉支援学校、大阪教育大学附属特別支援学校）による、ICTを特別支援教育に活用・普及するための研究開発活動。
  - ※3 Information and Communication Technologyの略語
  - ※4 Apple社が開発したBluetoothを利用する端末間の無線通信規格
  - ※5 ドロップス (Drops: The Dynamic and Resizable Open Picture Symbols) は、ドロップレット・プロジェクトが開発、デザインした視覚支援シンボル集です。